紀要投稿要領

1. 紀要について

1）本学類の紀要の名称を「大阪府立大学看護学雑誌」（Osaka Prefecture University Journal of Nursing）とする．

2）紀要は年１回発行する．

3）紀要は本学の学術情報リポジトリ（OPERA）で公開する．

4）紀要の編集は，紀要委員会が行う．

1. 投稿資格

原稿の第一著者は看護学類の教員・非常勤講師，大学院看護学研究科学生および修了生で，紀要委員会が認めたものとする．

1. 原稿の種類

1）原稿の種類は，論壇，総説，原著，研究報告，その他である．それぞれの内容は下記のとおりである．

【論壇】看護学に関連する問題や話題について，今後の方向性を指し示すような論述や提言

【総説】看護学に関連する特定のテーマについて，多面的に知見ならびに文献を検討し，総合的に概説したもの

【原著】看護学に関連した研究論文のうち，独創的で，新たな知見が論理的に示されているもの

【研究報告】看護学に関連した研究論文のうち，内容において原著論文に及ばないが，研究の意義があるもの

【その他】看護学に関連した資料，解説，実践記録，研究ノート等で，紀要委員会が適切と認めたもの

2）投稿論文の内容は，他の出版物に掲載あるいは投稿されていないものに限る．

3）投稿原稿の1編は本文，文献，図表を含めて以下の制限内にとどめることを原則とする．なお，図表はA4用紙1枚の大きさを1，000字とする．

　【本文，文献の文字数（抄録を除く）を，文献末尾にカッコ書きで記載する．最終原稿提出時にはこれを削除する．】

論　壇　　 4,000字以内

総　説　　12,000字以内

原　著　　16,000字以内

研究報告　16,000字以内

その他　　12,000字以内

1. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は，倫理的に配慮され，その旨が本文中に明記されなくてはならない．原則として倫理委員会の審査を受けること．

1. 投稿手続き

　1）定められた期日までに投稿申込を行う．（看護学類ＨＰに掲載された「紀要原稿募集のお知らせ」を参照）

2）提出は、以下のいずれかの方法で行う。

①原稿（本文，図・表を含む），表紙A（著者情報あり），表紙B（著者情報なし）とチェックリストを各々１つのWordファイルとし、Eメール（以下，メール）に添付し、紀要委員会：[journal@nursing.osakafu-u.ac.jp](mailto:journal@nursing.osakafu-u.ac.jp)　へ送信する。

②原稿（本文，図・表を含む），表紙A，表紙Bとチェックリストを各々１つのWordファイルとし、看護学研究科ＨＰから「大阪府立大学看護学雑誌」の“Contact us”より送信する．

3）メールの件名には「紀要投稿原稿」と記載する．

1. 原稿の受付および採否

1）投稿要領および原稿執筆の要領にしたがって作成された原稿に対しては，紀要委員会から原稿受領の連絡がある．1週間以内に紀要委員会から連絡がなかった場合には，必ず確認する．なお，投稿要領および原稿執筆の要領から著しく逸脱した原稿は受領前に修正を求める．

2）著者は，査読者の意見をもとに，原稿，表紙A，表紙Bを修正し，査読者（原則として2名以上）のすべての意見に対して文書で回答し，紀要委員会によって定められた期日までに再投稿する．

3）紀要委員会において原稿の種類および掲載の可否についての決定を行う．

4）投稿原稿が受理された場合には，紀要委員会から「原稿受理書」が著者に発行される．

5）著者校正は紙媒体で1回行う．校正時の加筆は原則として認めない．

1. 原稿執筆の要領

1）執筆上の注意

①原稿は原則としてWordで作成し，A4判用紙1枚あたり，35文字×28行の横書きとする．

②句読点は「，．」を使用する．

③図,表なども含めて全ページに通し番号を原稿の下中央に入れる．

④原著・研究報告には，原稿の第１ページに和文，英文の抄録およびキーワードを記載する．

⑤論壇・総説・その他には，原稿の第１ページにキーワードを記載する．

2）表紙（表紙A・表紙B）

　①看護学研究科ＨＰの「大阪府立大学看護学雑誌」から表紙A，表紙Bをダウンロードし、各々に必要事項（表題，著者名，図表の数，希望する原稿の種類，別刷希望数）を記載する．

②表題には英文タイトル，著者名には英語表記を併記する．

③表紙Aには、和文の著者名の右肩に1)，2)と番号を付け、所属先（連絡先を含む）を記載する．

3）抄録・キーワード

①和文抄録は400字，英文抄録は300語以内で本文の論旨がわかるよう記載する．

②抄録に続いて，論文の内容を的確に表現しうるキーワード（単語または語句）を日本語と英語で3～6個記載する．

③英文の表題および抄録はネイティブのチェックを受ける．

4）本文

①本文は，原稿の第２ページから始める．

②本文は著者が特定されないようにする．

5）図，表

①図，表などは，1つずつA4用紙に雑誌掲載時のサイズで配置し，図1，表1（英文の場合は，Table 1, Figure 1）などの通し番号をつけ，本文の次に一括してまとめる．

②本文中の図，表の挿入希望位置を原稿右欄外にそれぞれ挿入希望位置を朱書きで指定する．

6）文献

①本文中の文献表示方法

引用文献は，引用箇所に著者名と発行年次(西暦)を括弧表示する．

著者が複数の場合は，著者名は1名のみとし，「ら」または「他」をつけて略する．

同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は，発行年次の後に小文字のアルファベットa，b，c･･･を付して区別する．

　例：（小川ら，2005），（Ogawa, et al., 2004），（鈴木，2003a），（鈴木，2003b）

②文献欄の記載方法

文献欄は，筆頭著者の姓のアルファベット順に記載する．共著者は3名まで記載し，それ以上の場合は「ら」または「他」をつけて省略する．

同一著者の文献が複数ある場合には，発行年次の早い順に記載する．

同一年次に同一著者による文献が複数ある場合には，本文中の表示に添付した小文字のアルファベット順に並べる．

③文献の記載方法の例

　　[雑誌の場合]

著書名(発行年次)：表題名．掲載雑誌名（List of journals indexed medicus，医学中央雑誌･収録雑誌略名表に準拠した略名も可），号もしくは巻(号)，頁－頁．

　[単行書の場合]

i著者名(発行年次)：書名（版数　初版は省略可）．出版社名，発行地．

　ii著者名(発行年次)：論文の表題．編者名，書名（版数　初版は省略可），頁－頁，出版社名，発行地．(英文は編集者や監修者名の前にIn，後に (Ed)または(Eds)を記載)

　[翻訳書の場合]

原著者名（原著の発行年次）：原著名．出版社，発行地．/訳者名(翻訳書の発行年次)：翻訳書名(版数)．出版社名，発行地．

　[電子文献の場合]

　　　　著者：タイトル，入手年-月-日，URLｱﾄﾞﾚｽ

1. 著作権

原稿内容についての第一儀的な責任と権利は執筆者に帰属するが，原稿の編集，出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は紀要委員会が執筆者から委託されたものとする．

1. 著者負担

論文の別刷りは，1論文あたり30部までは無料とし，それ以上は著者負担とする．

（附則）

この投稿要領は，平成23年４月26日から施行する．

この投稿要領は，平成27年４月23日から施行

　する．

　　この投稿要領は，平成23年4月28日から施行

する．

　　この投稿要領は，平成30年3月22日から施行

　する．